

# 生命科学4プラットフォーム 支援説明会・ 成果シンポジウム

すべての  
科研費研究が  
支援対象になります！

参加無料  
要事前登録



QRコードより  
ご登録ください

現地および  
ZOOMによる  
ハイブリッド  
開催

2024年 **4月23日** (火)  
13:00~17:45

弥生講堂・一条ホール  
(東京大学農学部内)

ZOOMによる  
オンライン参加も可能



科研費研究を  
最先端の技術で支援します

## 支援説明会

ABIS

AdAMS

PAGES

CoBiA

社会との接点活動

## イノベーション・エッジ:最新の支援技術紹介

ABIS

AdAMS

PAGES

CoBiA



舟橋 啓  
慶應義塾大学



宮川 剛  
藤田医科大学



鈴木 穰  
東京大学



中枋 昌弘  
名古屋大学

## 成果シンポジウム

ABIS

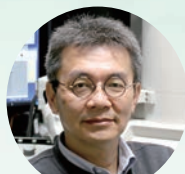
AdAMS

PAGES

CoBiA



松井 広  
東北大学



深澤 有吾  
福井大学



鈴木 佐和子  
千葉大学



山根 京子  
岐阜大学



小柳 友理子  
愛知県がんセンター研究所

主催



文部科学省 学術変革領域研究 学術研究支援基盤形成  
生命科学連携推進協議会

事務局

東京大学医科学研究所 学術研究基盤支援室  
〒108-8639 東京都港区白金台4-6-1 TEL:03-6409-2424  
<https://square.umin.ac.jp/platform/>





◀本シンポジウムの詳細はこちらをご覧ください。

12:00 受付開始

13:00 開会挨拶 武川 睦寛 (東京大学医科学研究所)

13:05 来賓挨拶 田畑 磨 (文部科学省 研究振興局 学術研究推進課課長)

13:10 支援説明会

**ABiS** 先端バイオイメージング支援プラットフォーム

**AdAMS** 先端モデル動物支援プラットフォーム

**PAGS** 先進ゲノム解析研究推進プラットフォーム

**CoBiA** コホート・生体試料支援プラットフォーム

社会との接点活動

14:35 イノベーション・エッジ:最新の支援技術紹介 座長:武川 睦寛 (東京大学医科学研究所)

**ABiS** 深層学習による定量的な体外受精胚評価手法の開発

演者:舟橋 啓 (慶應義塾大学)

**AdAMS** 網羅的マウス行動解析技術および既存の200系統での網羅的解析結果との比較解析技術

演者:宮川 剛 (藤田医科大学)

**PAGS** 空間解析の新展開~東大・柏拠点からの技術紹介

演者:鈴木 穰 (東京大学)

**CoBiA** データ解析支援を活用した学際的研究の推進

演者:中枿 昌弘 (名古屋大学)

15:23 休憩

15:40 成果シンポジウム

**ABiS** 超微細形態ダイナミクス解析への挑戦:グリアによるシナプス貪食が支える記憶学習

座長:大野 伸彦 (生理学研究所/自治医科大学)

演者:松井 広 (東北大学) / 深澤 有吾 (福井大学)

**AdAMS** 痛と生活習慣病の共通の分子基盤としてのグルタミン代謝制御

座長:豊國 伸哉 (名古屋大学)

演者:鈴木 佐和子 (千葉大学)

**PAGS** わさびの辛味-ゲノムから謎に迫る

座長:豊田 敦 (国立遺伝学研究所)

演者:山根 京子 (岐阜大学)

**CoBiA** ALDH2 rs671遺伝型層別GWASメタ解析により明らかとなった日本人の飲酒行動の遺伝的構造とその食道がんリスクへの影響

座長:若井 建志 (名古屋大学)

演者:小柳 友理子 (愛知県がんセンター研究所)

17:40 閉会挨拶 鍋倉 淳一 (生理学研究所)



## アクセス

弥生講堂・  
一条ホール  
(東京大学農学部内)



〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1  
最寄り駅: 東京メトロ南北線「東大前駅」  
千代田線「根津駅」



武川 睦寛

生命科学連携推進協議会  
研究支援代表者  
(東京大学医科学研究所)

近年、生命科学研究の分野では、オミクス解析、分子/生体イメージング、ゲノム編集、生体試料バンク、データ/情報科学の導入などに代表される、新たな解析技術が急速に発展するとともに、研究に必要な機器も高度化・大型化しており、研究者が個人でこれら全てに対応することが困難な状況が生まれています。この様な状況を打開するため、文部科学省のご支援のもと学術変革領域研究『学術研究支援基盤形成』が創設されました。これは、科研費で実施している研究課題に対し、先進的な技術支援やリソース支援等を行って個々の研究を強力にサポートするとともに、研究者間の連携や人材育成を一體的に推進して、我が国の学術研究のさらなる発展に資することを目的とした制度です。この目的を実現するため、大学共同利用機関、共同利用・共同研究拠点を始めとする関係機関が緊密に連携し、「学術研究支援基盤 (プラットフォーム:PF)」を形成しています。

今回のシンポジウムでは、本事業の中核である4つのPF、「先進ゲノム解析研究推進PF」、「先端バイオイメージング支援PF」、「先端モデル動物支援PF」ならびに「コホート・生体試料支援PF」の支援内容や、注目される最新技術の紹介、さらには、本支援を受けて成果を上げられた先生方による講演を行います。

科研費を取得しておられる研究者であれば、どなたでも支援の申請が可能です。是非、本支援事業を積極にご活用頂き、ご自身の科研費研究のさらなる発展に役立てて頂けたら幸いです。